



岩見沢市内晴れ間 雪どけ進む



冬囲いを外したばかりのつるバラを「トレリス」にくくりつける作業スタッフ

空知管内は10日、高気圧に覆われ、各地で晴れ間が広がった。岩見沢市の午後4時までの最高気温は、平年より1.4度高い11.0度。雪解けが進み、同時刻の積雪は1センチとなった。札幌管区気象台によると、11日以降も気温が高い状態が続く見通しで、このままいけば、昨年11月27日から続いていた長期積雪(根雪)は12日にも終日を迎えると思われる。(中沢弘一)

管内晴れ間 雪解け進む
岩見沢市志文町のいわみざわ公園バラ園では10日、冬囲いを外したばかりの駐車場周辺のつるバラの剪定や、「トレリス」と呼ばれる格子状のつるをくくりつける作業が行われた。作業スタッフが、高さ3メートルのトレリスに麻ひもを使っ

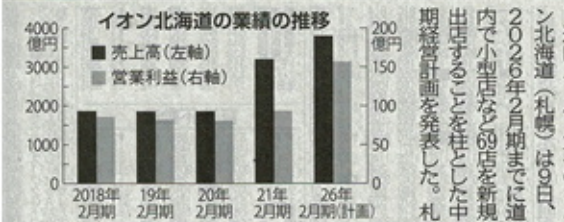
岩見沢市職員 初の女性部長

所美穂子・教育部長に聞く



「子どもからお年寄りまで、学ぶ楽しさ、喜びを感じられるよう、教育環境をつくるのが仕事」 語る所美穂子・教育部長

1人で何でも背負わずに／教育がまちをつくる
【岩見沢】市教委の1日付人事で教育部長に就任した所美穂子氏(58)。市職員として初の女性部長となるが、「管理職になって、今の立場が一番気持ちが良い」と気負いはない。1984年に市役所に入り、20年にわたり教育部門に携わる。今後の抱負などを聞いた。(中沢弘一)
教育部長 所美穂子
「女性管理職が当たり前になる時代。当次長から昇格し部長になりました。は運命だと思いませんし、早くそうなることを願っています。」



イオン北海道中期経営計画
69店出店で食品強化
道内スーパー大手のイオン北海道(札幌)は9日、2026年2月期までに道内にて小型店など69店を新規出店することを柱とした中期経営計画を発表した。札幌周辺を中心に新出店し、新型コロナウイルス禍で伸び

クロスアツク コロナ対策
「食品売上高で道内トップを狙う」。イオン北海道の青柳英樹社長は9日、札幌市内の記者会見でこう言い切った。総合スーパーが本業で衣料品や生活雑貨の売り上げも多く、食品のみだと競合のアークスやコープさっぽろより少ないとみられるが、今後5年間で一気に抜き去る計画だ。
青柳社長は「コロナ禍で事業モデルの見直しに迫られたと続ける。衣料部は、外出自粛

呼び水から稼ぐ力に
や在宅勤務の広がりでスーツや旅行用の売り上げが急減。室内着を強化するなどして巻き返しているが、コロナ禍の水準に届かない。大人数を収容する大型施設であることも客数が減る要因だ。
2021年2月期は同じイオングループの食品スーパー、旧マックスパル北海道との統合が吉と出て、食品の集まりやすさの取り込みが成功。衣料品などの不振を補った。ネットスーパーを通じた宅配需要も見込め、このように経営の工夫を売ってきたことを「クロスアツク」から「利益を稼ぐ原動力」として取り上げていきます。

イオン赤字転落 過去最大710億円
イオンが9日発表した2021年2月期連結決算は、純利益が710億円の赤字(前期は268億円の黒字)に転落した。赤字はリーマン・ショックで消費が冷え込んだ09年2月期の27億円で12年ぶり、赤字額はその後過去最大となった。
新型コロナウイルスの感染拡大を受けた昨年春の臨時休業や時短営業が響いた。店舗の収益力低下を繰り込んで固定資産の減損処理を行い、462億円の特別損失を計上したことも影響した。
売上高に当たる営業収益は8兆6000億円と前期比で微減。営業利益は30.1%減ったものの1505億円の黒字を確保した。

除雪費補助 管内で明暗

国の追加配分 調査票変更

Table showing snow removal subsidy distribution by city in Sorachi Prefecture. Columns include City Name, Estimated Budget, and Actual Budget.

岩見沢3億円 美唄ゼロ
岩見沢市は、国が追加配分した補助金を活用し、管内の自治体で明暗が分かれた。過去最大の除雪費補助となった岩見沢市は1億0000万円を受け取った一方、同じく過去最大の補助金を受けた美唄市は0円を受け取った。
岩見沢市は、国が追加配分した補助金を活用し、管内の自治体で明暗が分かれた。過去最大の除雪費補助となった岩見沢市は1億0000万円を受け取った一方、同じく過去最大の補助金を受けた美唄市は0円を受け取った。